

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。



JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA

—— 創立指揮者 渡邊暁雄 ——

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

SUBSCRIPTION CONCERTS

第 745 回
東京定期演奏会

サントリーホール

2022年11月18日(金) 19:00

11月19日(土) 14:00

2022

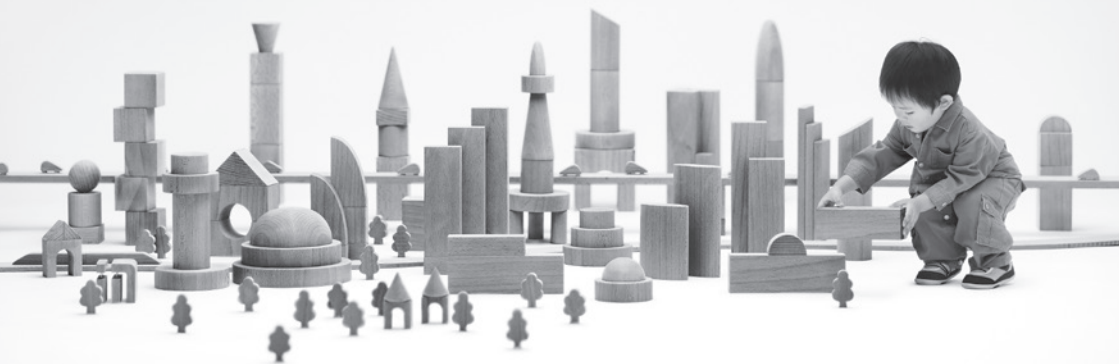
11

NOV



日本フィルハーモニー交響楽団

想像を、チカラに。



人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
in 鹿島



©ThomasKost

C CONTENTS

目次

● プログラム	4
● 出演者プロフィール	6
● プログラム・ノート- 八木 宏之 -	7
● 写真プレイバック- 2022年10月 -	10
● あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、あらゆる地域へ、世界へ	11
● Member's TVU CHANNEL 配信一覧	12
● 第九特別演奏会2022	13
● 感動の共有 ～ご支援のお願い～	17
● 日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名	18
● パトロネージュご芳名	22
● 次回東京定期演奏会	24
● インフォメーション	26
● 公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 名簿	27

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA 745th SUBSCRIPTION CONCERTS

日本フィルハーモニー交響楽団
第745回 東京定期演奏会



サントリーホール
Suntory Hall

2022年 11月18日(金)午後7時開演 / 19日(土)午後2時開演
7:00p.m. 18th (Fri.) & 2:00p.m. 19th (Sat.), November 2022

主 催 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人 日本芸術文化振興会

協 賛 / 鹿島建設株式会社 三井不動産株式会社

衣 装 提 供 / 株式会社カインドウェア

表紙イラスト / 小澤 一雄

公益財団法人 朝日新聞文化財団

感染防止策にご協力をお願いいたします。

- スタッフは不織布マスクを正しく着用します。また、小声で対応させていただきます。
- 入場時の手指消毒、手洗い、検温をお願いいたします。
- ホール内ではマスク(不織布など効果の確かなもの)を正しく着用し、周囲のお客様への配慮をお願いいたします。
- 開演前にはなるべくお席でお過ごしください。
- 会場ロビーでの食事はお控えください。(ホール内は飲食禁止です)
- ブラボー等の掛け声はお控えください。ホール内では大声での会話を避けるようご協力をお願いいたします。
- 出演者へのプレゼント(お手紙・お花などを含む)、面会、楽屋入り待ち、出待ち等とはご遠慮ください。
- チケットで購入者と演奏会に来場者のお名前が異なる場合は、ご来場者のご住所、お名前、電話番号を弊社までお知らせください。
- 万が一感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へお客様のお名前と連絡先を提供する可能性があります。

*この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。ご要望の方は主催者までお申し出ください。

ドヴォルジャーク: 管楽セレナーデ ニ短調 op.44 B.77* 約26分
Antonín DVORÁK: Serenade in D-minor, op.44 B.77

ドヴォルジャーク: 《伝説》op.59 B.122より 約12分
第1番、第8番、第3番
Antonín DVORÁK: "Legends" op.59 B.122, No.1, No.8, No.3

休憩(15分) Intermission

モーツァルト: オーボエ協奏曲 ハ長調 K.314* 約22分
Wolfgang Amadeus MOZART: Concerto for Oboe and Orchestra in C-major, K.314

ビゼー: 交響曲第1番 ハ長調 約32分
Georges BIZET: Symphony No.1 in C-major *は吹き振り

指揮・オーボエ: フランソワ・ルルー
Conductor, Oboe: François LELEUX

コンサートマスター: 扇谷 泰朋[日本フィル・ソロ・コンサートマスター]
Concertmaster: OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ: 菊地 知也[日本フィル・ソロ・チェロ]
Solo Violoncello: KIKUCHI Tomoya, JPO Solo Violoncello

*当初発表の内容から変更になりました。

演奏中のマナーにご協力をお願いいたします。

■ 演奏会をお楽しみいただくために
演奏会中は時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。また手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声などで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

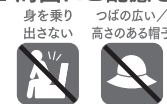
■ 電源OFF



■ 声と拍手にご注意を



■ 周囲にご配慮を



■ 音にご注意を



■ 撮影禁止





Conductor, Oboe 指揮・オーボエ

フランソワ・ルルー

François LELEUX

©Uwe Arens Sony Classical

指揮者でありオーボエ奏者のフランソワ・ルルーは、溢れんばかりの熱意と活力を持つことで知られる。現在、カメラータ・ザルツブルクのアーティストック・パートナーを務めている。これまでに、パリ室内管弦楽団のアーティスト・イン・アソシエーションを務めたほか、hr交響楽団（旧フランクフルト放送響）、ストラスブール・フィルハーモニー管弦楽団、ベルン交響楽団、ノルウェー室内管弦楽団、そしてテネリフェ交響楽団のアーティスト・イン・レジデンスとして活躍している。

2021/22シーズンには、ルルーは指揮者としてスイス・イタリア語放送管弦楽団、BBCスコットランド交響楽団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、カメラータ・ザルツブルク、ヨーロッパ室内管弦楽団、バーミンガム市交響楽団、スコットランド室内管弦楽団、オランダ室内管弦楽団、そしてパリ室内管弦楽団を再訪する。これまでに、オスロ・フィルハーモニー、HR及びWDR交響楽団、リール国立管弦楽団、スウェーデン室内管弦楽団や、シド

ニー、グルベンキアン、スウェーデン放送交響楽団、トーンキュストラ管弦楽団などを指揮している。

オーボエ奏者としては、ニューヨーク・フィルハーモニック、ベルリン・ドイツ交響楽団、ロイヤル・ストックホルム・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団、ブダペスト祝祭管弦楽団、そしてスウェーデン放送交響楽団やNHK交響楽団などと、ソリストとして共演している。室内楽にも熱心に取り組み、六重奏団のレ・ヴァン・フランセや、リサ・バティアシュヴィリ、エリック・ル・サージュにエマニュエル・シュトロッセといったリサイタルのパートナーたちと、世界各地で定期的に演奏している。ミュンヘン音楽大学教授。

❁ プログラム・ノート 解説：八木 宏之 ❁

◆ ドヴォルジャーク：管楽セレナーデ ニ短調 op.44 B.77

アントニン・ドヴォルジャーク（1841-1904）は生涯にふたつの《セレナーデ》を残している。ひとつはドヴォルジャークが33歳のときに、2週間足らずで書き上げられた《弦楽セレナーデ》。もうひとつは《弦楽セレナーデ》の3年後、1878年に作曲された《管楽セレナーデ》である。

「セレナーデ」は、男性が夕暮れに、想いを寄せる女性の家の窓の下で、リュートやギター、マンドリンなどを弾きながら歌うラブソングに起源を持つ。17世紀には王侯貴族の祝典音楽を指すようになったセレナーデは、18世紀に入ると器楽アンサンブルの1ジャンルとして発展していった。18世紀以来セレナーデの編成は主に管楽器とコントラバスであり、これは屋外で演奏されるセレナーデの本来の姿に由来している（弦楽合奏やオーケストラのためのセレナーデはそこから派生したものである）。

第1楽章は「クアジ・マルチャ（ほとんどマーチのように）」と指示されているが、これは18世紀のセレナーデの典型的な始まり方であり、楽師たちの入場を表してい

る。ニ短調からへ長調に転じるトリオも古風な趣を持っていて、モーツァルトの時代のセレナーデを思い起こさせる。

第2楽章はメヌエットであるが、聴こえてくるのはチェコの民俗舞曲である。ゆったりとのどかなソウセツカー（舞曲の形式名）の主部に快活なフリアント（同）の中間部が続く。《管楽セレナーデ》と同じ年に書かれた「スラヴ舞曲集」第1集に通じる、民俗的色彩の濃い楽章である。

第3楽章は夜の世界を描く緩徐楽章。低弦楽器のゆったりとした歩みにホルンのシンコペーション・リズムと木管楽器による歌が重ねられ、静けさのなかに微かな緊張が漂う。

第4楽章はチェコの民俗舞曲スコチナー風のロンド。ルルーは、この楽章とモーツァルトの《グラン・パルティータ》K.361の最終楽章との関連性を指摘している。曲が終わりに近づく第1楽章の行進曲主題が再現され、楽師たちの退場が描かれる。

楽器編成：オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン3、チェロ、コントラバス

◆ ドヴォルジャーク：《伝説》op.59 B.122より第1番、第8番、第3番

19世紀に新たに台頭した裕福な市民階級ブルジョワは好んでサロンにピアノを置き、多くの人が自宅でピアノ演奏を楽しむようになった。楽譜出版社にとっても、そうしたアマチュア・ピアニストの

ための作品は主力商品となっていった。ピアノの前にふたりで座って弾く4手連弾はとりわけ人気のジャンルとなり、多くの作曲家が4手連弾曲をこぞって作曲した。ブラームスの「ハンガリー舞曲集」は

その代表的なものである。

ドヴォルジャークの国際的名声も、1878年に作曲した4手連弾のための「スラヴ舞曲集」第1集の成功によってもたらされた。ブラームスの「ハンガリー舞曲集」に続くヒットを狙っていたドイツの楽譜出版社ジムロックは、ドヴォルジャークに同様の作品を依頼する。そうして生み出された「スラヴ舞曲集」は、ジムロックの狙い通り「ハンガリー舞曲集」に並ぶヒット作となったのだ。ドヴォルジャークはすぐさま「スラヴ舞曲集」の管弦楽版も完成させ、こちらも瞬く間に世界中で演奏されるようになった。

「スラヴ舞曲集」第1集の3年後、1881年に作曲された《伝説》も、まず初めに4手連弾版が作られ、その後ジムロックの要望を受けてオーケストレーションが施された。作品はドヴォルジャークの才能

を高く評価していた音楽評論家のエドゥアルト・ハンスリックに捧げられている。

《伝説》は「スラヴ舞曲集」としばしば比較されるが、《伝説》の音楽表現は「スラヴ舞曲集」のそれより内省的なもので、オーケストラの編成も小さくなっている。《伝説》というタイトルは聴き手の想像力を刺激するものだが、具体的なエピソードが示されているわけではない。本日は全10曲のなかから、力強い序奏が物語の始まりを思わせる**第1番(二短調)**、ボヘミアの牧歌的な田園風景を想起させる**第8番(ハ長調)**、付点と跳躍が特徴的なスラヴ舞曲風の**第3番(ト短調)**の3曲が演奏される。

楽器編成：フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、ティンパニ、トライアングル、弦楽5部。

◆ モーツァルト：オーボエ協奏曲 ハ長調 K.314

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756-1791)は、1777年から78年にかけてマンハイムに滞在した際、オランダ人の医師でフルート愛好家のフェルディナント・ドジャンと知り合い、短いフルート協奏曲3曲とフルート四重奏曲2曲の作曲を依頼された。しかし、モーツァルトがドジャンに渡したのは協奏曲2曲と四重奏曲3曲で、協奏曲が1曲足りなかったことからドジャンは約束の半分にも満たない報酬しか支払わなかった。

ドジャンのために作曲されたと考えられていたフルート協奏曲第2番ハ長調K.314だが、1920年にザルツブルクで同じ作品のオーボエ独奏パートの筆写譜が見つかり、さらに1971年にはこの作品

のハ長調の自筆スケッチが発見され、モーツァルトがドジャンのために書いた2曲のフルート協奏曲のうち、第2番はマンハイムで新たに作曲されたものではなく、もともと完成していたオーボエ協奏曲をハ長調から二長調に移調してフルート用にしたものであることが判明した。フルート協奏曲の原曲となったオーボエ協奏曲は、1777年4月にザルツブルク宮廷楽団のメンバーとなったイタリア出身のオーボエ奏者、ジュゼッペ・フェレンディスのために書かれたオーボエ協奏曲K.271kと同一の作品であると考えられているが、確証は得られていない。

協奏風ソナタ形式の**第1楽章**にはアペルト(はっきりと)という指示があるが、

その言葉通りの明快で瑞々しい音楽である。独奏オーボエは駆け上がるように登場し、いきいきとした名人芸を披露する。

第2楽章もソナタ形式の緩徐楽章であるが展開部は欠いている。展開部に代わる短い中間部では微かに表情が曇るなど、モーツァルトらしい陰影が美しい。

◆ ビゼー：交響曲第1番 ハ長調

早熟の天才であったジョルジュ・ビゼー(1838-1875)は9歳でパリ音楽院に入学し、アレヴィやグノーのもとで作曲を学んだ。ビゼーが交響曲第1番を作曲したのは1855年のこと。ビゼーはまだ17歳の学生であった。直前にグノーの交響曲第1番を4手連弾用に編曲する仕事を任されたビゼーは、自身初の交響曲を作曲するにあたり、グノーの書法を大いに参考にした。そのため、グノーとビゼーの交響曲第1番は兄弟のような関係にある。ビゼーは交響曲第1番を完成させた2年後の1857年にローマ賞を受賞し、作曲家としてのキャリアを華々しくスタートさせた。

今日ではビゼーの初期の傑作として知られる交響曲第1番だが、作曲家の生前に演奏されることはなく、1933年に自筆譜が再発見されるまで、長い間忘れ去られていた。フェリックス・ワインガルトナーの指揮で初演が行われたのは1935年、作曲から80年後のことだった。初演までにこれほど長い年月を要したのは、ビゼーがこの作品をグノーのスタイルに学んだ習作と位置付けていたことに加えて、1850年代のフランスにはまだフランス人による交響曲を受容する準備が整っていなかったことも関係しているだろう。ベルリオーズの交響曲に正当な評価が与えられ、サン＝サーンスや

第3楽章はロンド風のソナタ形式で、饒舌な独奏オーボエがオペラの登場人物かのように歌を紡いでいく。冒頭に現れる主要主題は、のちに歌劇《後宮からの誘拐》K.384で転用された。

楽器編成：独奏オーボエ、オーボエ2、ホルン2、弦楽5部。

フランクが「フランスの交響曲」を打ち立てるのは、1871年の普仏戦争敗戦以降のことである。

第1楽章はセオリーに忠実なソナタ形式。ハ長調の堂々とした響きに続いて現れる軽妙洒落な第1主題と、オーボエによって提示される気品に満ちた第2主題は、ともに古典派交響曲を模範としている。

第2楽章は、ビゼーのメロディメーカーとしての才能が最も強く表出している楽章である。オーボエから弦楽器へと引き継がれていく忘れ難い旋律は、後年の《カルメン》や《アルルの女》を予感させる。中間部で展開される緻密な対位法も聴きどころのひとつ。

第3楽章は典型的なスケルツォ楽章で、交響曲は再び古典派の趣となる。トリオに入り、バグパイプを思わせる低弦楽器の持続音が聴こえてくると、一転して田舎の風景が広がる。

第4楽章はソナタ形式のフィナーレ。無窮動的なモチーフから成る第1主題とヴァイオリンが奏する優雅な第2主題のコントラストが印象的である。展開部の巧みな主題労作は、第2楽章のフガートと並んで、青年ビゼーの高度な作曲技術を示している。

楽器編成：フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、ティンパニ、弦楽5部。



PHOTO 1 10月初日に開催した横浜定期演奏会。美しいのびのびとヴィヴァルディの《四季》を奏でる高木凜子さんと藤岡幸夫マエストロ。後半はベートーヴェンの第7番をお届けしました。



PHOTO 2 10月2日第239回芸劇シリーズでは、ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番を上原彩子さんと前日に続き藤岡幸夫マエストロ。客席いっぱいのお客さまも盛り上がり拍手が鳴り止みませんでした。ありがとうございます！バックステージでのツーショット！*



PHOTO 3 10月12日は震災後に訪問を重ねている岩手県宮古市で、熱心に取り組むジュニア・アンサンブル、地元プロの方々と共に公演を行いました。青森出身の指揮者・松井慶太さんと宮城出身のヴァイオリン大江馨さんと共に、東北の未来に向けて音楽でエールを送ります！



PHOTO 4 10月16日は第398回名曲コンサート。たくさんのお客様にご来場いただきました。ありがとうございました！小林マエストロ、千住真理子さんによる艶やかな音色でヴァイオリンの名曲の数々、大平健介さんによるJ.S.バッハのオルガンの名曲をお届けしました。



PHOTO 5 10月21日22日は、首席指揮者ピエタリー・インキネンとの2019年10月以来の東京定期演奏会。ベートーヴェンの交響曲第8番と第7番をお贈りしました。次回の来日は首席指揮者としての締めくくり、日本フィル×インキネンの集大成。どうぞご期待ください。*

*印のアーカイブ配信はMember's TVU CHANNELで。
<https://members.tvuch.com>



あらゆる人々へ、あらゆる世代へ、 あらゆる地域へ、世界へ

落合陽一×日本フィルハーモニー交響楽団プロジェクトVOL.6

《遍在する音楽会》世界は、音楽に満ちている。

落合陽一×日本フィルプロジェクトは、テクノロジーでオーケストラの聴き方をアップデートし、音楽を通して多様性の高い社会の構築と日本文化の発信を目指しています。

そのスタートは2018年の「耳で聴かない音楽会®」でした。聴覚障害のある方と一緒に楽しむコンサートの開催を通じ、音楽を聴くことは聴覚だけでなく身体を丸ごと使って「体験」するものなのだとして改めて感じました。本プロジェクトは、この「音楽鑑賞の身体性」に注目し、五感を分断せずに共感的な「身体性の体験」を演出するコンサートの開催を通じ、真の意味での「オーケストラのダイバーシティ」のあり方を社会に問いかけています。

Topics1 映像も音楽もライブで共演する、画期的コンセプトの新作初演

藤倉大：メディアアートとオーケストラのための「for null」（委嘱初演）

メディアアーティスト落合陽一と、英国在住の作曲家・藤倉大がタッグを組み、双方がコラージュの手法を用いて「映像と音楽が完全に一体となる」というコンセプトのもと、21世紀の全く新しい管弦楽作品が誕生しました。



©蛭川 実花

©Alf Solbakken

Topics2 ひとりひとり違う聴き方で「遍在」を楽しむ

ジョン・ケージ：「ミュージサーカス」

「Music×Circus＝ミュージサーカス」。アーク・カラヤン広場とサントリーホールを会場に、アイヌ伝統音楽、仏教声明、琉球舞踊、アジアの音楽や世界の楽器、「人間でない」ウルトラマンやLOVOTまで、多彩なゲストが参加。日本フィルもアンサンブルやワークショップチームが参加し、広場とホール、2つの“音世界”を創出しました。



©Tomoko Hidaki



©Tomoko Hidaki

Topics3 音楽の持つ身体的な祝祭性を問い直す（身体いっぱい喜びを感じよう!）

日本人の根源的な美的感覚体験の場を創造する取組も継続。今年は太古の歴史に振り返り、縄文の「焰」を演出のテーマに、五感に訴える演出とともにストラヴィンスキー「火の鳥」他をお届けしました。



©Tomoko Hidaki

- ◆クラウドファンディング・プロジェクトページ <https://readyfor.jp/projects/vol6>
- ◆プロジェクト Twitter @ochyaijapanphil



Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック

<https://members.tvuch.com>



Member's TVU CHANNELは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。
日本フィルの配信は1,000円で3ヵ月間何度でもご視聴いただけます(販売期間は6ヶ月です)。

まずはID登録! メールアドレスとパスワードのみで簡単!

5月28日	東京定期演奏会	指揮:カーチン・ウォン ピアノ:務川 慧悟
伊福部昭:リトミカ・オスティナータ、マーラー:交響曲第4番(ソプラノ:三宅 理恵)		
6月18日	東京定期演奏会	指揮:秋山 和慶 ピアノ:小川 典子
ラヴェル:ピアノ協奏曲《ダフニスとクロエ》第2組曲		
7月1日	さいたま定期演奏会	指揮:鈴木 優人 ピアノ:小林 愛実
ショパン:ピアノ協奏曲 ベートーヴェン:《レオノーレ》序曲第3番 他		
7月2日	横浜定期演奏会	指揮:広上 淳一 ピアノ:福岡 洸太郎
ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第4番、《田園》		
7月9日	東京定期演奏会	指揮:広上 淳一 ヴァイオリン:米元 響子
ブルッフ:スコットランド幻想曲 ブルックナー:交響曲第7番		
9月3日	東京定期演奏会	指揮:山田 和樹 ヴァイオリン:田野倉 雅秋
貴志康一:ヴァイオリン協奏曲 ウォルトン:交響曲第1番		
9月16日	さいたま定期演奏会	指揮:小林 研一郎 ピアノ:河村 尚子
ブラームス:ピアノ協奏曲 チャイコフスキー:交響曲第4番		
10月2日	芸劇シリーズ	指揮:藤岡 幸夫 ピアノ:上原 彩子 [販売期間3ヵ月]
ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番 ベートーヴェン:交響曲第7番		
10月22日	東京定期演奏会	指揮:ピエタリ・インキネン
ベートーヴェン:交響曲第8番、第7番		
11月5日	芸劇シリーズ	指揮:小林 研一郎
ドヴォルジャーク:交響曲第8番、第9番《新世界より》		
11月12日	さいたま定期	指揮:沼尻 竜典 ヴァイオリン:服部 百音
メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ブラームス:交響曲第4番		
11月18日	東京定期演奏会	指揮:オーボエ:フランソワ・ルルー
ドヴォルジャーク:管楽セレナーデ* ドヴォルジャーク:《伝説》より第1曲、第8曲、第3曲		
モーツァルト:オーボエ協奏曲* ビゼー:交響曲第1番		

*吹き振り

2022 第九特別演奏会



指揮:太田 弦

12/17(土) 17:00

[横浜みなとみらいホール]
【第383回横浜定期演奏会】

12/18(日) 14:00

[サントリーホール]

ベートーヴェン:《エグモント》組曲

ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》

ソプラノ:盛田 麻央 アルト:杉山 由紀

テノール:樋口 達哉 バリトン:黒田 祐貴

合唱:東京音楽大学(12/17)

日本フィルハーモニー協会合唱団(12/18)



指揮:小林 研一郎 [桂冠名誉指揮者]

12/22(木) 19:00

[サントリーホール]

12/23(金) 19:00

[東京芸術劇場]

12/24(土) 14:30

[横浜みなとみらいホール]

12/25(日) 14:00

[東京芸術劇場]

12/27(火) 19:00

[東京芸術劇場]

J.S.バッハ(M.デュリュフレ編):

カンタータ22番より第5曲

「慈しみもて我らを死なせ」

J.S.バッハ:

パストラーレ BWV590より II.アルマンデ

J.S.バッハ:

トッカータとフーガ ニ短調BWV565

(以上3曲オルガン独奏)

ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》

オルガン:石丸 由佳

ソプラノ:小川 葉奈(12/22~24)/市原 愛(12/25、27)

アルト:山下 牧子

テノール:錦織 健(12/22~24)/笛田 博昭(12/25、27)

バリトン:大沼 徹(12/22、23)/青戸 知(12/24)

青山 貴(12/25、27)

合唱:東京音楽大学(12/22、23)

武蔵野合唱団(12/24)

日本フィルハーモニー協会合唱団(12/25、27)

料金

S ¥9,000 A ¥7,500 B ¥7,000 C ¥6,000

Ys (25歳以下) ¥3,500 Gs (65歳以上) ¥6,000 (12/17除く、12/24、12/25完売)

好評発売中

&

あれもこれも、で
いい街にしよう。

たとえば、伝統と革新。都市と自然。
経済と文化。住む人と働く人。
あれかこれか、ではなく、あれもこれも。
私たち三井不動産は、
異なる概念やさまざまな人を結びつけて、
イノベーションや挑戦、
驚きや希望や愛といった、
新しい価値を次々と街に生み出していきたい。
そして街に集う人たちと一緒に、
その先の日常をつくっていききたい。
街は人とともに。
三井不動産の「&」の街づくりは続きます。

 **三井不動産**
MITSUI FUDOSAN

最高級のアコースティックを誇る

 **杉並公会堂**
Suginami Koukaidou

日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。



日本フィル杉並公会堂
シリーズ公演より



春休みオーケストラ探検より
楽器体験



公開リハーサル

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15
Tel: 03-3220-0401
<http://www.suginamikoukaidou.com/>
※運営会社：(株)京王設備サービス

日本フィルを支えてくださる皆様に、
心より御礼申し上げます。

日本フィルは多くの方々の支えを基に、年間150回を超える演奏会を中心とした多彩な活動を行っております。質の高い演奏を継続してお届けするため、また、音楽を通して「豊かな社会」の実現の一翼を担う活動をいっそう推進するために、幅広い皆様のお力によって経済的基盤を強化することを願っております。

演奏によって皆様とつながり、皆様とともに豊かな社会を実現する担い手となることを願い、「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行い、音楽を通して文化を発信しています。

私達は、日ごろの活動を通して、音楽とはネットワーク、コミュニケーションの力によって広がり、喜びがより深くなるものだ実感しております。日本フィルの楽団員一同は、音楽によって人と人とが繋がる喜びをもっとも理解する音楽集団として、人の心の温かさを、演奏に乗せて届けます。

日本フィルの活動を維持・発展させるためには、自助努力ももちろん大切です。引き続き経営面での努力を重ねます。

しかしいっぽう、文化の事業には継続性が大切です。こんにちの日本において、安定した活動を継続するためには皆様からいただくご寄付、ご支援が欠かせません。日本フィルは今後、様々なコミュニティの皆様とともに多彩な活動を行っていきたいと考えております。

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長 平井 俊邦

■お振込みでのご寄付

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額 を
メール donation@japanphil.or.jp まで
お知らせください。

【お振込先口座】

三菱UFJ銀行 高円寺支店(支店コード:155)

普通預金 0242402

公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

■オンライン寄付

日本フィルの公式ホームページから
クレジットカードによりご寄付いただけます。

右のQRコードから
ご寄付のサイトを
ご覧いただけます。

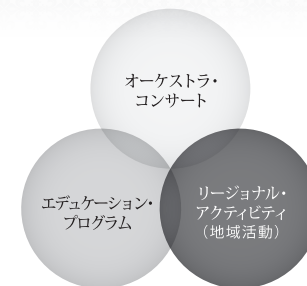


ご寄付をいただきました方には、
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

感動の共有 日本フィルハーモニー交響楽団

文化の発信

日本フィルは、
質の高い音楽をお届けする《オーケストラ・コンサート》
音楽との出会いを広げる《エデュケーション・プログラム》
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる
《リージョナル・アクティビティ》という
三つの柱で活動を行い、
音楽を通して文化を発信しています。



今月から下記の方々よりご支援をいただくことになりました。(敬称略)

特別会員 京王重機整備株式会社 代表取締役社長 寺田 雄一郎

バトロネージュ 澤井 敏雄 東京都 / 原 幸男 静岡県

日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。詳しくは左のページをご覧ください。

バトロネージュ [個人寄付会員]

プログラム誌へのご芳名掲載などの特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。
年会費: 3万円 / 5万円 / 12万円 / 20万円 / 50万円 / 100万円

日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様に日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、主催公演チケット優先受付・優待(1割引)など様々な特典があります。
年会費: 1万円

特別会員 [法人寄付]

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。寄付金額を損金に算入することができます。

遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

お問い合わせ: 日本フィル事務所 TEL03-5378-6311 (10-18時、土日祝日休)

日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名

株式会社IDホールディングス	代表取締役社長 船越 真樹	小川香料株式会社	代表取締役社長 小川 裕
株式会社アイレ	代表取締役社長 荒江 健	公益財団法人オリックス宮内財団	代表理事 宮内 義彦
アイング株式会社	代表取締役会長 飯嶋 庸夫	株式会社カカコム	代表取締役社長 畑 彰之介
赤坂維新號	代表取締役社長 鄭 東静	鹿島建設株式会社	代表取締役会長 押味 至一
あすか製菓株式会社	代表取締役社長 山口 惣大	鹿島建物総合管理株式会社	代表取締役社長 山本 和雄
株式会社アトックス	代表取締役社長 矢口 敏和	鹿島道路株式会社	代表取締役社長 吉田 英信
株式会社アドビジネスコンサルタント	代表取締役社長 池田 昭司	株式会社カナック企画	代表取締役 金子高一郎
株式会社アール&キャリア	代表取締役社長 飯嶋 一晃	株式会社ガモウ	代表取締役 蒲生 茂
イーソリューションズ株式会社	代表取締役社長 佐々木経世	社会医療法人河北医療財団	理事長 河北 博文
株式会社泉商会	代表取締役社長 八方 淑夫	川北電気工業株式会社	取締役社長 大津 正己
株式会社泉放送制作	代表取締役社長 目下部恵一	北野建設株式会社	代表取締役会長兼社長 北野 貴裕
磯野不動産株式会社	代表取締役社長 磯野 計一	キッコーマン株式会社	取締役名誉会長取締役会議長 茂木友三郎
稲畑産業株式会社	相談役 稲畑 勝雄	キャノン株式会社	代表取締役会長 兼 社長 CEO 御手洗富士夫
株式会社インフォマート	代表取締役社長 中島 健	キューピー株式会社	代表取締役 社長執行役員 長南 収
株式会社内田洋行	代表取締役社長 大久保 昇	株式会社協和日成	代表取締役社長 川野 茂
内野株式会社	代表取締役社長 内野 信行	キリンホールディングス株式会社	代表取締役社長 磯崎 功典
宇部エクシモ株式会社	代表取締役社長 古賀 源二	株式会社きんでん	取締役社長 上坂 隆勇
株式会社AIT	代表取締役社長 大熊 克美	株式会社九曜社	代表取締役社長 望月 耕次
株式会社エイブル&パートナーズ	代表取締役会長兼社長 佐藤 茂	グリーン・サポート・システムズ株式会社	代表取締役 笛木 彰
株式会社エヌエフホールディングス	代表取締役会長 高橋 常夫	グローブシップ株式会社	代表取締役社長 矢口 敏和
NGB株式会社	代表取締役社長 宮崎 潔	京王重機整備株式会社	代表取締役社長 寺田雄一郎
エヌビーエス株式会社	代表取締役会長 飯嶋 一晃	株式会社京王設備サービス	取締役社長 浅野 義行
株式会社エルイーテック	代表取締役社長 坂田 洋一	京王電鉄株式会社	代表取締役社長社長執行役員 都村 智史
エレコム株式会社	代表取締役会長 葉田 順治	京浜急行電鉄株式会社	取締役社長 川俣 幸宏
大隅ミート産業株式会社	代表取締役社長 小森 浩一	株式会社小泉	代表取締役社長 長坂 剛
株式会社大場造園	代表取締役社長 大場 二郎		
株式会社岡三証券グループ	取締役会長 加藤 哲夫		

株式会社興建社	代表取締役 水島 隆明	全国保証株式会社	代表取締役社長 石川 英治
コーザイ株式会社	代表取締役 貝沼 信和	第一倉庫株式会社	会長 小泉 駿一
株式会社講談社	代表取締役社長 野間 省伸	株式会社泰秀	代表取締役社長 野口 通子
株式会社コバヤシ	代表取締役 小林 達夫	大正製菓株式会社	取締役会長 上原 明
コンパッソ税理士法人	代表社員 内川 清雄	大同生命保険株式会社	代表取締役社長 北原 睦朗
株式会社コトブキ	代表取締役社長 深澤 幸郎	大日本除虫菊株式会社	代表取締役社長 上山 直英
株式会社コンサートサービス	代表取締役 佐藤 修悦	大日本塗料株式会社	代表取締役社長 里 隆幸
佐藤製菓株式会社	代表取締役社長 佐藤 誠一	大和製罐株式会社	代表取締役社長 山口 裕久
三機工業株式会社	特別顧問 梶浦 卓一	高砂熱学工業株式会社	代表取締役社長COO 社長執行役員 小島 和人
山九株式会社	代表取締役社長 中村 公大	千歳コーポレーション株式会社	取締役社長 森岡 寛司
サントリーホールディングス株式会社	代表取締役社長 新浪 剛史	千代田化工建設株式会社	代表取締役会長 兼 社長 榊田 雅和
三洋貿易株式会社	代表取締役社長 新谷 正伸	株式会社千代田テクノ	代表取締役会長 細田 敏和
ジエロサイエンス株式会社	取締役社長 長見 善博	塚本總業株式会社	代表取締役社長 塚本 素清
ジェネロ株式会社	代表取締役 竹内 大志	ディアンドデパートメント株式会社	代表取締役社長 松添みつこ
株式会社慈恵実業	代表取締役社長 石塚 雄三	DM三井製糖株式会社	
澁谷工業株式会社	取締役社長 澁谷 英利	株式会社ティーガイア	代表取締役社長 石田 将人
株式会社じほう	代表取締役会長 武田 正一郎	学校法人帝京大学	理事長 冲永 佳史
清水建設株式会社	代表取締役社長 井上 和幸	THK株式会社	代表取締役社長 寺町 彰博
株式会社集英社	代表取締役社長 廣野 眞一	TIS株式会社	代表取締役社長 岡本 安史
昭和電工ガスプロダクツ株式会社	代表取締役社長 平倉 一夫	株式会社電通	代表取締役 社長執行役員 榎谷 典洋
昭和電工株式会社	代表取締役会長 森川 宏平	東亜建設工業株式会社	代表取締役社長 早川 毅
ショーボンドホールディングス株式会社	代表取締役社長 岸本 達也	株式会社東急コミュニティー	取締役社長 木村 昌平
新菱冷熱工業株式会社	代表取締役社長 加賀美 猛	東京海上日動火災保険株式会社	取締役社長 広瀬 伸一
株式会社ジャックス	代表取締役社長 村上 亮	株式会社東京交通会館	代表取締役社長 興野 敦郎
株式会社ジンテック	代表取締役 柳 秀樹	東京都杉並区	区長 岸本 聡子
株式会社杉江商店	代表取締役 杉江 寛	東京美装興業株式会社	代表取締役社長 八木 秀記
杉山商事株式会社	取締役社長 杉山 健	東洋熱工業株式会社	代表取締役社長 谷口 昌伸
住友ベークライト株式会社	代表取締役社長 藤原 一彦	戸田建設株式会社	代表取締役会長 今井 雅則
株式会社スプリックス	代表取締役社長 常石 博之		

トヨタ自動車株式会社 代表取締役社長 豊田 章男
株式会社永田音響設計 代表取締役社長 小口 恵司
株式会社永谷園ホールディングス
代表取締役会長 永谷栄一郎
株式会社ナミキ 代表取締役会長兼社長 並木 洋一
日総工産株式会社
代表取締役社長執行役員 兼 CEO 清水 竜一
日鉄興和不動産株式会社 代表取締役社長 今泉 泰彦
株式会社ニフコ 代表取締役会長 山本 利行
日本精工株式会社 取締役会長 内山 俊弘
日本製鉄株式会社 代表取締役社長 橋本 英二
日本電子株式会社
代表取締役会長 兼 取締役会議長 栗原権右衛門
日本パーカライズング株式会社
株式会社日本マイクロニクス
代表取締役社長 長谷川正義
株式会社ネイチャーズウェイ
代表取締役社長 萩原 吉晃
根本特殊化学株式会社 代表取締役社長 根本美恵子
野村ホールディングス株式会社
代表執行役社長 グループCEO 奥田健太郎
パイオニア株式会社
代表取締役兼社長執行役員 矢原 史朗
ハウス食品グループ本社株式会社
代表取締役社長 浦上 博史
株式会社博報堂 代表取締役社長 水島 正幸
ハナマルキ株式会社 代表取締役社長 花岡周一郎
パンパシフィック・カップー株式会社
代表取締役社長 堀 一浩
阪和興業株式会社 代表取締役社長 中川 洋一
東日本住宅株式会社 代表取締役 桃野 直樹
非破壊検査株式会社 代表取締役社長 山口多賀幸
ひびき・パース・アドバイザーズ
代表取締役社長 清水 雄也

富国生命保険相互会社 代表取締役社長 米山 好映
富士急行株式会社 代表取締役社長 堀内光一郎
富士テレコム株式会社 代表取締役社長 西田 孝一
一般財団法人 藤本育英財団
古河産業株式会社 代表取締役社長 横田 敦彦
合同会社ベルファーマシー 代表社員 前島 景子
株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
ホッカンホールディングス株式会社
代表取締役社長 池田 孝資
株式会社ポニーキャニオン
代表取締役社長 吉村 隆
本田技研工業株式会社
取締役 代表執行役社長 三部 敏宏
株式会社牧野フライス製作所
取締役社長 宮崎正太郎
マネックスグループ株式会社
代表執行役 松本 大
株式会社丸井グループ 代表取締役社長 青井 浩
株式会社丸の内よろず 取締役社長 中村 正博
丸美屋食品工業株式会社 代表取締役社長 阿部豊太郎
三井情報株式会社 代表取締役社長執行役員 浅野 謙吾
株式会社三井住友銀行 頭取CEO 高島 誠
三井倉庫ホールディングス株式会社
代表取締役社長 古賀 博文
三井物産株式会社 代表取締役社長 堀 健一
三井不動産株式会社 代表取締役社長 菰田 正信
株式会社三越伊勢丹アイムファシリティーズ
代表取締役会長 飯嶋 庸夫
株式会社三越伊勢丹ホールディングス
特別顧問 石塚 邦雄
三菱HCキャピタル株式会社
代表取締役 社長執行役員 柳井 隆博
三菱オートリース株式会社
代表取締役社長 中野 智

三菱ガス化学株式会社 代表取締役社長 藤井 政志
三菱地所株式会社 執行役社長 吉田 淳一
三菱自動車工業株式会社
取締役代表執行役社長 兼 最高経営責任者 加藤 隆雄
三菱重工業株式会社 取締役社長 泉澤 清次
三菱倉庫株式会社 相談役 宮崎 毅
株式会社三菱UFJ銀行 頭取 半沢 淳一
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
取締役社長 兼 グローバルCEO 小林 真
武蔵商事株式会社 代表取締役 宇田川紀通
明治安田生命保険相互会社
取締役代表執行役社長 永島 英器
株式会社明和住販流通センター
代表取締役 塩見 紀昭
メッドサポートシステムズ株式会社
代表取締役 谷川ひとみ
株式会社メディアグラフィックス
代表取締役社長 我妻まどか
株式会社メルコホールディングス
代表取締役社長 牧 寛之
森社会保険労務士事務所 所長 森 康之
株式会社ヤクルト本社 相談役名誉会長 堀 澄也
山崎製パン株式会社
ヤマトホールディングス株式会社
取締役 神田 晴夫
UBE株式会社 取締役会長 山本 謙
ユウキフーズシステム株式会社
代表取締役 田中 秀和
横河電機株式会社
米持建設株式会社 代表取締役 米持 大介
株式会社リガク 取締役会長 志村 晶
株式会社リョーサン
代表取締役社長執行役員 稲葉 和彦

株式会社Rings 代表取締役 矢部 和広
株式会社リンレイ 代表取締役社長 鈴木 信也
株式会社LABCO 代表取締役 高津 昌広
株式会社LEOC 代表取締役会長兼社長 小野寺裕司
ローム株式会社
代表取締役社長 社長執行役員 松本 功

匿名5名

(2022年11月1日現在・50音順・敬称略)

パトロネージュで芳名

田中	美次郎	東京都
浅野	純英	埼玉県
朝吹	和郎	東京都
厚田	俊彰	東京都
荒井	昇隆	神奈川県
荒木	秀隆	東京都
荒井	康子	東京都
有手	純子	神奈川県
安藤	千麻	埼玉県
飯田	光桂	東京都
飯田	桂司	東京都
家近	憲茂	東京都
五十嵐	信重	東京都
池浦	慧博	東京都
池田	隆光	東京都
池谷	光司	東京都
伊佐	山志	東京都
石澤	卓雄	千葉県
石橋	邦雄	神奈川県
伊藤	貴博	東京都
伊藤	宏恭	神奈川県
伊藤	昌治	東京都
稲葉	樹衛	茨城県
犬塚	静俊	東京都
井上	信人	埼玉県
井上	直浩	東京都
岩瀬	順子	神奈川県
岩田	達明	静岡県
上野悦子	陽子	東京都
宇賀神	裕子	神奈川県
白井	潤彦	東京都
内村	恒彦	神奈川県
江口	廣子	東京都
江口	麗子	東京都
遠藤	滋輝	神奈川県
大石	直輝	山梨県
大熊	真結	東京都
大島	剛	埼玉県
大竹	明	神奈川県
太田	達男	神奈川県
太田	達男	千葉県
大塚	宣夫	東京都

大藤森岡岡岡尾尾小野小幡小折風賀鹿片桂加藤加藤加藤金子金上香川河野菊喜北村木桐草刈熊倉栗畔賀好土口兒

康太晉尚雅群弘洋子健尚道正沙織三裕重二康夫み一宣修肇夫子孝義義治和美久嗣裕惠明隆哲郎樹子宏知信宏稔子夫敏

埼玉県
東京都
東京都
埼玉県
神奈川県
東京都
神奈川県
東京都
岩手県
東京都
東京都
神奈川県
福島県
東京都
東京都
静岡県
東京都
東京都
東京都
埼玉県
千葉県
東京都
神奈川県
千葉県
東京都
神奈川県
東京都
神奈川県
埼玉県
神奈川県
神奈川県
千葉県
東京都
埼玉県
埼玉県
東京都
東京都

子え美子彦昌大仲俊哲男之昭美雄一一生雄久幸雄知一英貴司眞帆合唱団千太郎秀明子夫二一英子泰子郎幸忠雄子喜哲男一郎征幸介
玲裕俊康和英武寛正淑敏栄敏晴子幸知英眞帆合唱団千太郎秀明子夫二一英子泰子郎幸忠雄子喜哲男一郎征幸介
玉小林見味井卷形藤藤座間井田田島清水河下生新庄晋友杉山鈴木鈴鈴住野関妹尾石仙宗染高木須田橋岡竹中田田田中
兄小小駒五酒酒酒定佐藤藤座間井田田島清水河下生新庄晋友杉山鈴木鈴鈴住野関妹尾石仙宗染高木須田橋岡竹中田田田中

東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
神奈川県
神奈川県
長野県
東京都
神奈川県
東京都
東京都
東京都
神奈川県
東京都
東京都
東京都
神奈川県
東京都
千葉県
東京都
千葉県
大阪府
東京都
東京都
東京都
神奈川県
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
大分県
東京都
神奈川県
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
兵庫県
東京都
神奈川県

田辺三基男	東京都
田村 一	山梨県
田村 浩	東京都
塚本 久	東京都
辻 和美	東京都
井 雅夫	東京都
津 厚幸	東京都
石 義伸	東京都
角田 博之	東京都
坪井 峻	東京都
横井 孝一	東京都
日本文学の会	
寺澤 佳代	東京都
東京プロデューサー	東京都
時枝 満	東京都
徳田 俊一	東京都
徳田 陽三	東京都
外山 誠	東京都
中尾 誠利	神奈川県
ナガカワケンメイ	東京都
中島 奈穂	東京都
中島 雅則	東京都
長瀬 知則	東京都
中園 和博	東京都
仲田 喜泉	東京都
中野 明宏	千葉県
永野 琢夫	東京都
中村 公一	東京都
中村 貞良	東京都
中本 逸郎	東京都
那須 雄治	東京都
栗 年紀	東京都
新倉 啓介	東京都
西澤 豊	東京都
西村 敬子	京都府
西村 醇子	神奈川県
日本フィルハーモニー協会	埼玉県
二村 英之	東京都
沼口 彦	東京都
根 直之	千葉県
野谷 文昭	東京都
箱崎 一彦	千葉県
蓮見 純	東京都
羽田 洋子	神奈川県

東京都
山梨県
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
の会
東京都
合唱団
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
神奈川県
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
千葉県
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
京都府
神奈川県
モ二一
埼玉県
東京都
東京都
千葉県
千葉県
千葉県
東京都
神奈川県

人郎輔俊男史子夫正哉貞子寒次夫一薰子真明太郎史郎夫汎彦裕讓義子光之男二子美郎泰司樹之郎和紀行剛
尚一宏 幸博邦邦 直勝晴茂英昭裕由紀子耿一澄信孝信義繁茂輝裕雄純洋泰徹稔宏智一敏俊元剛
田林原原針平田林瀬沢井田井沢本原瀨星前田野木田尾松田本木島川本藤上上田永森森川木口倉代野
濱林原原針平田林瀬沢井田井沢本原瀨星前田野木田尾松田本木島川本藤上上田永森森川木口倉代野

尚一郎輔俊男史子夫正哉貞子寒次夫一薰
 山一宏幸博邦邦直勝晴茂英昭裕紀貞明弘朗史郎夫汎彦
 由圭圭澄信義子光之男二子美郎泰
 惠繁茂輝裕純洋泰徹稔宏智一敏俊元剛

東京都
東京都
東京都
千葉県
静岡県
東京都
神奈川県
神奈川県
東京都
大分県
神奈川県
神奈川県
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
神奈川県
千葉県
東京都
東京都
埼玉県
東京都
東京都
神奈川県
東京都
東京都
東京都
千葉県
兵庫県
埼玉県
埼玉県
東京都
東京都
神奈川県
神奈川県
東京都
神奈川県
山梨県
千葉県
東京都
東京都
東京都

山上 彦典
山口 幸子
山口 仁榮
山口 達ど
山口^み 弘
山越 章
山下 芳
山田 敏
山村 己
山村 隆
山本 美
油井 高
横川 直
吉川 直
吉谷 保
吉村 美
吉村 真
渡辺 幸
渡辺 匡
渡辺 敦
渡辺 和
渡辺 規
渡辺 久
渡辺 雄
渡辺 直
渡辺 裕
F.H. 志
M.K. 志

園

(2022年10月
50音順・敬称

彦子栄之り弘広之己隆絵次直保子幸則郎和久雄直裕
幸仁達ど章芳敏宏美高直直美真匡敦和子雄直裕
み

園

22年10月
音順・敬称

東京都
東京都
東京都
長崎県
東京都
長野県
北海道
神奈川県
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
神奈川県
埼玉県
東京都
東京都
東京都
東京都
東京都
山口県

匿名63名

(2022年10月25日現在)
(50音順・敬称略)

NEXT CONCERTS

>> 次回東京定期演奏会

第 **746** 回

サントリーホール

2022年**12月9日(金)**19:00開演

10日(土)14:00開演「本日の聴きどころ(プレトーク)」13:20~

下野竜也が描く「戦争と平和」。

近現代イギリス作品集

指揮: **下野 竜也**

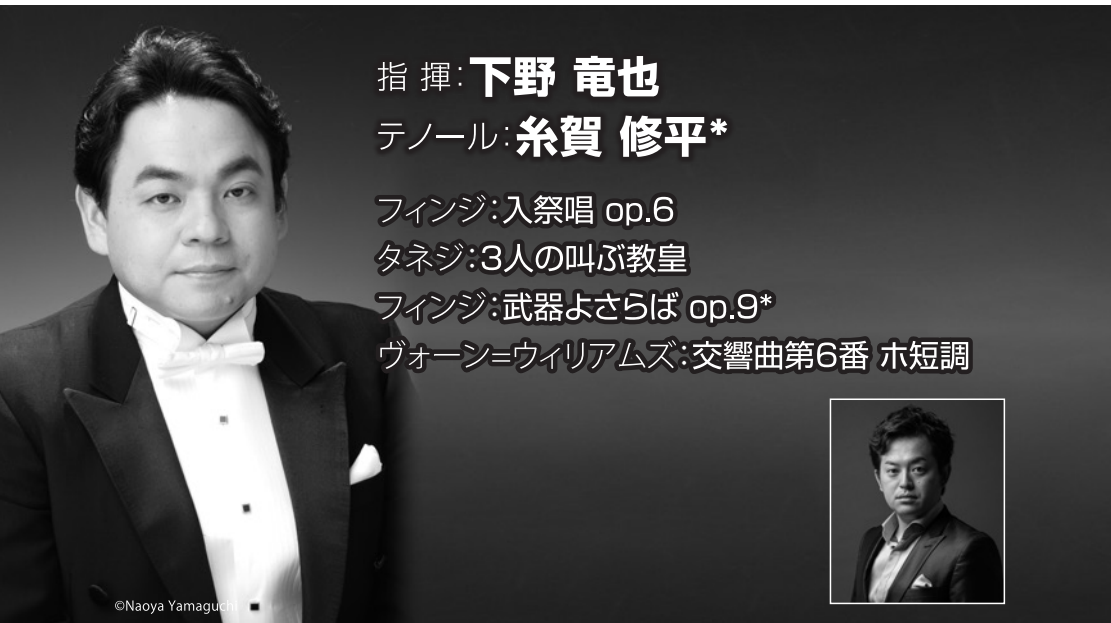
テノール: **糸賀 修平***

フィンジ: 入祭唱 op.6

タネジ: 3人の叫ぶ教皇

フィンジ: 武器よさらば op.9*

ヴォーン=ウィリアムズ: 交響曲第6番 ホ短調



©Naoya Yamaguchi



1回券料金 **S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C 完売 P ¥4,000 Ys (25歳以下) ¥1,500**

※障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターにお問い合わせください。

次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー!

聞き手 林田 直樹

—12月の定期演奏会、イギリスに関心ある人は、音楽に限らず注目すべき本日に素晴らしい内容ですね。まずは生誕150周年のヴォーン=ウィリアムズの交響曲第6番が決まったそうですね。

せっかく日本フィルの東京定期にお招きいただいているので、プログラムが一つの何か物語というか、メッセージ性のあるものをさせていただくようにしています。

ヴォーン=ウィリアムズといえば、『グリーンズリープス』の人でしょ?というように認識の人が実は多いんじゃないかと思ったりもするのですが、とんでもないすごい作曲家だと最近思っていて。今回いろいろな交響曲を聞いたり、調べてみたりしてるうちにこの6番にすごく心を掴まれて。本当に素晴らしい。でも生で聴くチャンス

があまりなかったので、とりあげてみたいと思いました。この交響曲、作曲家本人は否定していますが、第二次世界大戦を意識していることは間違いないと思います。それを露骨に言いたくないっていうことの裏返しで、純音楽として聴いてほしいと言っているというのは読みましたが。

イギリスの音楽は、音階のせいか日本人には理屈抜きにふっと自然にはいつくものがあります。蛍の光もそうだとすると極端でしょうか。そんなメロディーが前半にはできます。だからこそ後半の異常な静謐さとそのスケルツォの非常に暴力的な音楽的というのが、生きてくるというか。一つの彼の構成上の作戦かもしれません。最後は静かになって、さあ次はどんなフィナーレが待っているんだろう、こう高揚するような、ハッピーな赦しを与えられたような音楽が来るのかと思ってたら、来ない。第4楽章は「フィナーレ」ではなくて「エピローグ」です。聴衆への、我々への挑戦状です。

ずっと、センツァ・クレッシェンド(クレッシェンドなしに)、絶対クレッシェンドするなという強い要求が、すべてに書いてあります。カンタービレ(歌う)と書いてあってもクレッシェンドするなと書いてあるんです。だからそのニヒリズムというか、感情を表に出すなということでもあるかもしれない。それは本当に恐怖を味わった人でしかわからないこととか茫然自失となるというか…そのようなことがこの異常なスコアにずっとある。しかもくどいですけどエピローグって書いてある。何のエピローグなのかというのも想像が膨らみませんか。この交響曲のエピローグかもしれないし人類のエピローグかもしれない。

今回サントリーホールで演奏しますが、水を打ったように全員が何か思考してる、途中でダウンしている人もいるかもしれないけど、日本フィルの皆さんとこれ演奏した後のお客様の反応はすごく興味深いです。

—この6番の交響曲と何を組み合わせるかとなったわけですね。コース料理として考えた時に、すぐ絶妙な配分ですね。この甘さと辛さと。同じ20世紀のイギリス音楽ですけれども。

フィンジは大好きな作曲家で、「武器よさらば」の譜面取り寄せたらとても綺麗な曲だったので、これを凶暴なヴォーン=ウィリアムズのこの6番と組み合わせたら、もうそれで言葉をそれ以上重ねなくても、来てくださるお客様には意図があるのかな、とわかっていただけたと思いました。せっかくイギリスの音楽をお聞きいただくのであればもう少し何かをとパーセルから順に全部考えてみた結果タネジに落ち着き、この「叫ぶ教皇」にたどり着きました。インスパイアされたフランシス・ベーコンの絵が強烈じゃないですか(是非絵も見てください!)。聴いてみたら、ヴォーン=ウィリアムズと同じ音ずると思ったんです。あのスクラッチな、あとシャウトしてるところとかも、なんか共通性がありますし。

フィンジの入祭唱というミサの最初のような美しい響きの中で間髪いれずにタネジがはじまる。まだ現代の音楽と言える作品で、とんでもない色んな大きな編成で、シンセサイザーも使ったり。そしてタネジの残響が終わったところで「武器よさらば」。前半はこれらを続けて演奏します。それぞれに素晴らしい作品なんですけど、その次の曲と次の曲に行く間合いというのも演奏だと、僕は思ってるんです。

「YouTubeで対談全部をご覧ください!」

構成 日本フィル

【下野竜也×林田直樹

ヴォーン=ウィリアムズを語り合う】



【下野竜也×林田直樹

フィンジ、タネジを語り合う】



助成:



文化庁文化芸術振興費補助金

(舞台芸術創造活動活性化事業)

独立行政法人 日本芸術文化振興会

■ テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組!
『Welcomeクラシック』BS朝日 毎週水曜日22:54～23:00(第3週、第4週は再放送)。登場するのはピエタリ・インキネン&山田和樹。ぜひご覧ください!

■ もうすぐ発売

2022年12月1日(木) 発売
・2022/2023春季東京定期演奏会 会員券
・2022/2023春季横浜定期演奏会 会員券

2022年12月2日(金) 発売
2023年春季セット券

①第245回芸劇シリーズ
2023年3月18日(土)16:00開演
東京芸術劇場

『題名のない音楽会』でもおなじみのエリック・ミヤシロ・中川英二郎・本田雅人が結成したSuper Brass Stars & 日本フィルが誇るトランベッター、オッタビアーノ・クリスト・フォリによる魅惑のステージ

②第400回名曲コンサート
2023年5月21日(日)14:00開演
サントリーホール

ピエタリ・インキネンの首席指揮者ファイナル公演、ベートーヴェン『第九』

S席セット¥13,000 A席セット¥10,000

2022年12月6日(火) 発売
コバケン・ワールドVol.22

2023年3月26日(日)14:00開演
東京芸術劇場

指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者]
チェロ:堤 剛

チャイコフスキー:ロココ風の主題による変奏曲
ムソルグスキー(ラヴェル編曲):組曲『展覧会の絵』他

■ eチケット♪リニューアルのお知らせ

3月開催公演以降は新eチケット♪で販売します。11月8日頃お届けしたメールの手順に沿ってお手続きをお願いいたします。

■ 好評発売中

第九特別演奏会2022
詳細はP13をご覧ください。

第399回名曲コンサート

2023年1月15日(日)14:00開演
サントリーホール

指揮:カーチュン・ウォン[首席客演指揮者]
ギター:村治 佳織

ロドリゴ:アランフェス協奏曲
ベートーヴェン:交響曲第3番『英雄』

第244回芸劇シリーズ

2023年1月29日(日)14:00開演
東京芸術劇場

指揮:カーチュン・ウォン[首席客演指揮者]
ピアノ:小菅 優

ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第3番
ラフマニノフ:交響曲第2番

■ 本日の公演はカーテンコールでの写真撮影が可能です。

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のまま撮影をお願いいたします。
フラッシュ、動画撮影はお控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。

❖ プレトーク「本日の聴きどころ」

東京定期演奏会の土曜日は、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。今回は八木宏之氏の登場です。土曜日13:20～

創立指揮者 桂冠名誉指揮者 名誉指揮者 客員首席指揮者	渡邊 暁雄 小林 研一郎 ルカーチ・エルヴィン ジェームズ・ロッホラン ネーメ・ヤルヴィ	首席指揮者 桂冠指揮者 兼 芸術顧問 フレンド・オブ・JPO(芸術顧問) 首席客演指揮者	ピエタリ・インキネン アレクサンドル・ラザレフ 広上 淳一 カーチュン・ウォン
--------------------------------------	--	---	--

ソロ・コンサートマスター	扇谷 泰朋	ソロ・コンサートマスター	木野 雅之	ソロ・コンサートマスター	田野倉雅秋	アシスタント・コンサートマスター	千葉 清加	第1ヴァイオリン	伊藤 太郎 □ 齋藤 政和 谷崎 大起 西村 優子	太田 麻衣 榊 渚 田村 昭博 平井 幸子	九鬼 明子 竹歳 夏鈴 中谷 郁子 本田 純一	明子 夏鈴 郁子 純一
--------------	-------	--------------	-------	--------------	-------	------------------	-------	----------	------------------------------------	--------------------------------	----------------------------------	----------------

第2ヴァイオリン	遠藤 直子 加藤 祐一 佐藤駿一郎 町田 匡	大貫 聖子 神尾あずさ 末廣 紗弓 山田 千秋	岡田 紗弓 川口 貴 豊田 早織	ヴィオラ	安達 真理 ☆ 児仁井かおり 中溝とも子	小中澤基道 中川裕美子
----------	---------------------------------	----------------------------------	------------------------	------	----------------------------	----------------

ソロ・チェロ	菊地 知也	チェロ	石崎 美雨 大澤 哲弥 横山 桂	伊堂寺 聡 久保 公人	江原 望 山田 智樹
--------	-------	-----	------------------------	----------------	---------------

コントラバス	鈴木 優介 宮坂 典幸	高山 智仁 ○ 山口 雅之	成澤 美紀	フルート	齋藤 光晴	難波 薫	真鍋 恵子 ○
--------	----------------	------------------	-------	------	-------	------	---------

オーボエ	佐竹 真登	杉原由希子 ○	松岡 裕雅 ○	クラリネット	伊藤 寛隆 ○ 堂面 宏起	楠木 慶 ○	照沼 夢輝
------	-------	---------	---------	--------	------------------	--------	-------

ファゴット	大内 秀介 中川日出鷹	鈴木 一志 ○	田吉佑久子 ○	ホルン	伊藤 舜 原川翔太郎	宇田 紀夫 丸山 勉 ☆	信末 碩才 ○ 村中 美菜
-------	----------------	---------	---------	-----	---------------	-----------------	------------------

ソロ・トランペット	オッタビアーノ・クリスト・フォリ	トランペット	大西 敏幸 星野 究	中里 州宏	中務 朋子
-----------	------------------	--------	---------------	-------	-------

トロンボーン	伊藤 雄太	岸良 開城 ○	バス・トロンボーン	中根 幹太	チューバ	柳生 和大	ティンパニ	エリック・バケラ ○
--------	-------	---------	-----------	-------	------	-------	-------	------------

パーカッション	大河原 渉	ハープ	松井 久子
---------	-------	-----	-------

楽団長	中根 幹太	チーフステージマネージャー	阿部 紋子	ステージスタッフ	長橋 健太	チーフインスペクター	佐藤駿一郎	インスペクター	宇田 紀夫	ライブラリアン	鬼頭さやか
-----	-------	---------------	-------	----------	-------	------------	-------	---------	-------	---------	-------

森田 大翔	鈴木 優介	杉本 哲也
-------	-------	-------

理事長(代表理事)	平井 俊邦	副理事長(代表理事)	五味 康昌	常務理事(代表理事)	後藤 朋俊	常務理事(代表理事)	中根 幹太	常務理事(代表理事)	福井 英次	理事	石井啓一郎 / 遠藤 滋 佐々木経世 / 田村 浩章 戸所 邦弘 / 福本ともみ
-----------	-------	------------	-------	------------	-------	------------	-------	------------	-------	----	--

監評議員会会長	上條 貞夫 加藤 丈夫	青井 浩 / 安孫子 正 荒崎康一郎 / 石塚 邦雄 石村 等 / 稲垣 尚 内川 清雄 / 大塚 宣夫 海堀 周造 / 梶浦 卓一 河北 博文 / 喜多 崇介 木村 恵司 / 久保田 隆 小林研一郎 / 島田 精一 津田 義久 / 西澤 豊 野間 省伸 / 葉田 順治 村上典史 / 山口多賀幸
---------	----------------	--

名誉顧問	熊谷 直彦	名誉顧問	島田 晴雄	名誉顧問	田邊 稔	アドバイザリー・ボード	大島 剛 / 小野 敏夫 小網 忠明 / 後藤 茂 武田 隆男 / 田邊 稔 溝口 文雄
------	-------	------	-------	------	------	-------------	---

コミュニケーションディレクター	マイケル・スペンサー	マネジメント・スタッフ	浅見 浩司 / 磯部 一史 江原 陽子 / 及川ひろか 小川紗智子 / 荻島 里帆 賀澤 美和 / 柏熊由紀子 小須田 萌 / 佐々木文雄 澤田 智夫 / 篠崎めぐみ 清水佑香子 / 杉山 綾子 杉山まどか / 高橋 勇人 田中 正彦 / 樋谷 祐子 中村沙緒里 / 西田 大輔 長谷川珠子 / 馬場 桃子 藤田 千明 / 別府 一樹 益満 行裕 / 宗澤 晶子 山岸 淳子 / 吉岡 浩子 新井 康允 / 伊 波 睦 永島 義郎 / 南部 洋一
-----------------	------------	-------------	--

団友:	青柳 哲夫 / 青山 均 / 赤堀 泰江 浅井 俊雄 / 新井 豊治 / 石井啓一郎 伊藤 恒男 / 伊波 睦 / 遠藤 功 剛史 / 大石 修 / 大川内 弘 大味 修 / 寛 美知子 / 金本 順子 蒲谷 隆行 / 川口 和宏 / 菊田 秋一 吉川 利幸 / 木村 正伸 / 小林 俊夫 小山 清 / 斎藤 千種 / 佐々木 裕司 佐藤 玲子 / 菅原 光 / 高木 裕子 高木 雄司 / 高木 洋 / 高倉 理実 田沢 烈 / 立川 和男 / 堂阪 俊子 富樫 尚代 / 豊田 尚生 / 中川 二郎 永田 健一 / 中務 幸彦 / 奈切 敏郎 橋本 洋 / 畑井紀代子 / 平賀 法子 福島 喜裕 / 松本 克巳 / 松本 伸二 三谷 昭平 / 三本 克郎 / 宮武 良平 三好 明子 / 森 茂 / 山下 進三 山科 淑子 / 山本 辰夫 / 渡辺 哲雄
-----	--

チケットお申込・お問い合わせ

[日本フィル・サービスセンター]

TEL.03-5378-5911 (通常:平日10時~17時/現在:平日11時~17時) ※状況によっては営業時間が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

FAX.03-5378-6161 (24時間)

E-MAIL: order-ticket@japanphil.or.jp

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 TEL.03-5378-6311

japanphil.or.jp

公式Twitter
@Japanphil

公式アカウント

「Welcome クラシック」インキネン & ヤマカズが語るミニ番組
毎週水曜日 22:54~23:00 放送中!!